２０２６年１０月
からし種
カトリック片瀬教会



10 月にお祝いする２人の聖テレジアが私たちに教えてくれたこと
―神さまとの個人的で親しい交わりの大切さ―

たけ神父（宮内 毅）

10 月は、「ロザリオの月」として知られていますが、聖人のお祝い日が多い月でもあります。４日はアッシジの聖フランシスコの記念日ですし、18 日は福音記者聖ルカの祝日、28 日は使徒聖シモンと聖ユダの祝日に定められています。

また、10 月には２人の聖テレジアの記念日もあります。１人目は幼いイエスの聖テレジア(リジューのテレーズ)で１日がその記念日です。２人目はイエスの聖テレジア(アヴィラのテレサ)で記念日は 15 日です。２人はどちらも跣足カルメル会の修道女として生きた聖人です。また、２人ともカトリック教会から教会博士として認められています。

日本語版ウィキペディアによると、数多くの聖人たちの中で、教会博士と認められているのは 35 人だけで、そのうち女性は４人だけです。そしてその中の２人が、私たちが 10 月にお祝いする２人の聖テレジアなのです。

この２人の聖テレジアが伝えたメッセージには共通点があります。２人とも神さまとの個人的で親しい交わりの大切さを教えているのです。アヴィラのテレサの、祈りについての次の言葉は特に有名です。

「念祷(祈り)とは、私の考えによれば、自分が神から愛されていることを知りつつ、その神とただ２人だけで度々語り合う、友情の親密な交換に他なりません。」

(『イエズスの聖テレジア自叙伝』８章５)

アヴィラのテレサもリジューのテレーズもこのような神さまとの交わり・イエスとの交わりを生きた人でした。２人とも、信仰生活の根本が愛である神さまとの親しい関係であることを、自分たちの書き残した言葉によってだけではなく、自分たちの生き方を通して、私たちに教えてくれた素晴らしい聖人であったと言えるでしょう。

私たちは特にこの 10 月、２人の聖テレジアが伝えたメッセージを思い起こし、祈りを通して自分と神さまとの個人的な交わりを深めていくことに心を向けましょう。

2026 年 10 月度教会委員会報告

2026 年９月 13 日(日)

出席者：Fr.宮内、委員長、副委員長、財務、典礼、宣教司牧、広報、一粒会、総務、シャルトル聖パウロ修道女会、聖母訪問会、中高青大、市内連絡会、福祉、コミュニティ A、B、C

□ はじめの祈り

□ 宮内神父の話(報告・提案事項など)

〈報告〉

・市岡神父様の追悼： ９/13(日) ８時ミサを追悼ミサ、10 時ミサの共同祈願で永遠の安息を祈願。来年以降は検討の上、主任司祭個人の考えとして 10 周年の 2030 年まで継続意向。

・パスカーレ神父様の追悼： 在任中に帰天されたため追悼ミサを提案。命日の６月に近い日で実施検討。

・被造物を大切にするためのミサ：「すべての命を守るための月間」（９/１～10/４）にあたり、９/25(金) 9:30、９/27(日) 8:00 に実施。特別な祈願文・朗読箇所を使用。

・ベナンの司教様の訪問： 10/５(月)14:00、ベナンより来訪(見学)。聖心の布教姉妹会シスター４名同行。司祭・正副委員長で出迎え。

・第五地区の司祭の集い： 10/５(月)17:00～19:00、片瀬教会で開催(最大９名)。主任司祭と総務で夕食準備、費用負担は片瀬で今後検討。

・湘南白百合学園小学校での講話： 依頼により宮内神父が平日午前中に不定期で実施予定。

・長崎・五島巡礼旅行：来年３月実施。９/20(日)チラシ配布、10/１(木)申込開始。定員 20 名。公平性確保のため申込・問合せは旅行会社に一任。

〈提案事項等〉

・待降節黙想会： 11/29(日)に宮内神父担当で開催。

・主任司祭からの提案（次期委員長選出について）：現委員長の「 任期２年を迎えるにあたり、今後の事を考慮し委員長職は今期限りとする」という意向を尊重する。その上で、交代の文化を育て、後任確保難を改善する。

－ 信徒代表は信徒が選出することとし、事前に定めた規約を守り透明性を高める。今回は準備期間が限られるため委員による選挙とする。

－ 規約案への改善提案は９/30 までに委員長へメール。11 月度委員会で承認後、『からし種』11 月号に掲載。

－ 選挙管理委員は公正さ確保のため修道者２名と主任司祭が務める。(承認)

□ 全体の報告及び連絡事項

〈報告〉

・1. 聖母被昇天の祭日ミサ・「平和の祭」（８/15）： 雨天のためミサは聖堂内、止雨後に信徒会館・前庭で「平和の祭」実施。参加 86 名(大人 75 名、中高大・無料子ども 11 名)。時間・内容とも好評で、協力により片付けやゴミ持ち帰りも徹底された。

・2. 防火設備点検に関して(担当: 池尾)： ８/20 点検実施。火災報知器は正常だが、消火器２本(信徒会館１F・聖堂)の安全ピンが抜けて噴霧したため交換。８/23 ミサで注意喚起実施。ボックス格納や壁掛け等の保護対策・注意喚起を検討中。異常時は直ちに防火管理者へ連絡。

・3. 第５地区宣教司牧委員会および委員長会議（９/６ 大船教会）： 高齢者司牧(各教会の取り組み)、広報紙・議事録について協議。

〈連絡〉
・1. 敬老会について（９/20 祖父母と高齢者のための世界祈願日）： ミサ内で病者の塗油の秘蹟を実施し、ミサ後に信徒会館で敬老祝賀会を開催。
- 招待状状況：送付 143 通(返送４通、反応なし 41 通、返信 98 通)。
- 出席予定：ミサ 51 名(塗油希望 18 名、不明８名／左右前３列を優先席とする)。敬老会 60 名(本人 50 名、家族 10 名)。

・2. Sr.大橋のお話会（シャルトル聖パウロ修道女会）： 第４日曜ミサ後（11:15～11:45)。初回９/27(日)は司祭館１階応接室にて実施。
・3. ペットの祝福： 10/３(土)16:30 より実施(ポスター掲示済)。
・4. カトリックスカウトの日のイベント(JCCS 横浜教区支部 井出氏より）： 10/12(月・祝) 9:00～10:30 予定、約 170 名参加見込み。片瀬海岸から各教会を巡るスタンプラリー(片瀬教会の歴史と純和風聖堂を知る目的)。

□ <u>各部からの報告</u>
・1. 財務部： ７月迄の中間報告。教区予算用の恒常支出以外の申出は来週まで。来年予算は欠損予想のため教区から計画提示を要請されており、イベント開催時は概算予算の提出が必要。
・2. 総務部・報告：・平和の祭りチケット販売、敬老の祝い準備、信徒会館食器棚整理を実施。
・片瀬造園へ植木剪定を依頼完了。川崎マックが合宿時に草取り・低木剪定を実施(合宿時作業は要検討)。
・予定： 司祭館横車庫の片付け(大型ごみは内容明記の上車庫奥へ)。信徒会館使用管理ボード新調。
・涼しくなった日曜日 10 時ミサ後に駐車場からの道の草取りを実施予定（信徒に協力依頼)。
・3. 典礼部・報告： 司祭用夏用カズラ４着(白・赤・緑・紫)を大船教会グウェップ神父のご尽力により 43,200 円で購入。
・状況： 堅信式候補日３日(11/21, 11/28, 12/５)を承認、教区へ提出予定。侍者会再開に向け、運営方法や初聖体受領者・中高大生・大人からの新規侍者募集を検討中。
・4. 宣教司牧部： 講座準備委員会を実施(10 月第１日曜に３回目)。池尾氏を中心に入門講座の具体化を推進。
・5. 福祉部： カリタスジャパンへベネズエラ地震(46,000 円)、カトリック福岡教区へ熊本地震(133,000 円)を送金。コロンビア・インドネシア地震支援金を継続募金中(現在 45,976 円)。９/13 よりネパール土石流災害支援を開始(ベネズエラは終了)。
・6. 教会学校： ９/６より２学期開始。10 月第１日曜に Sr.吉田よりロザリオのお話をしていただく。
・7. 中高大青会： ９/26(土) 教区青年の集い「ときめき takeout で」を片瀬教会(聖堂・信徒会館)で開催(９:00～17:00、青年２名参加予定)。
・10/18(日) たけ神父との交流卓球大会を企画中。
・WYD ソウル大会(2027/７/29～８/８、18～35 歳対象)：2026 年 11 月より募集開始予定。
・8. 一粒会： 会員 80 名(会費納入は半数)。一粒会大会の申込は来週まで。
・9. 市内キリスト教連絡会： 市民クリスマスに向けて準備中(当日の給仕手伝いを募集可能性あり)。
・10. 広報： 『からし種 10 月号』は敬老会記事掲載のため 10/４発行(原稿締切９/25)。
・11. 営繕及び営繕プロジェクト： 司祭館ドアフォンをカメラ付き１台に整理。
・J:COM 電話１本解約および TV チャンネル削減(総合のみ残す)。

・信徒会館台所・女子トイレ付近の漏水工事完了。
・信徒会館台所の雨漏り修復工事(９/17 足場、９/21～25 工事)。
・12. 修道会から(聖母訪問会)： ９/18(金) 本部にてドキュメンタリー『ロストランド』上映会を開催。
・13. 各コミュニティ：特になし。
・14. その他：・夏季の猛暑中、ガーデニング当番による水やりで豊かな緑と花が保たれた(感謝)。
・防災プロジェクトは 10 月より始動予定。

□ **検討・討議事項**

・1. 堅信式の３候補日の承認： 確認された。
・2. 教会バザー： フリーマーケット形式、コミュニティ主体で実施。
日時：11 月８日(日) 11:00～14:00(ミサは通常通り)。
実行委員会：正副委員長、委員会メンバー、各地区コミュニティ代表(実行委員長は別途選出)。
第１回実行委員会を 10 月４日(日)11:30 より開催。
・3. 10 月ロザリオの月について提案： ミサ前に一同で行う案(ミサ 20 分前～10 分前)を採用・実施決定。
・4. 聖堂オルガンの不具合について： 現オルガンは交換することで承認。相澤(純)氏を中心に典礼・オルガニスト・聖歌隊・財務・神父・Sr. 吉田(アドバイザー)でプロジェクトチームを立ち上げ、スピード感を持って検討を進める。
・5. 事務所 PC の買い替え： 買い替え(新中古)を承認。辻垣氏を中心に PC・プリンター・システムを検討。

□ **今後の新しい予定**

・11 月３日(火)： 一粒会大会
・11 月 11 日(水)： 湘南白百合学園幼稚園　七五三の祝い(８:30～10:00　聖堂／司式:谷脇神父様)
・11 月 17 日(火)： 湘南白百合学園中学高等学校　中２修養会(８:00～13:00　聖堂・信徒会館１階／指導: 宮内神父)
・11 月 23 日(月・祝)： ザビエル祭
・12 月下旬： 聖テレジア病院クリスマスキャロリング(実施時期を検討中)

□ **終わりの祈り**

次回委員会：10 月 11 日(日)

敬老の日「お祝いの会」

K. T.

9月20日(日)敬老の日のミサの後「お祝いの会」が信徒会館で開かれました。80歳以上の方が参加されました。

たけ神父様が神に感謝の祈りを捧げられました。「神のお恵みによってここに集まることが出来ました。感謝致します。ここにおいでになった方々、参加出来なかった方々、敬老の日を迎えられた方々、一人ひとりを祝福し導いてください。この集まりがお互いのものとなりますように。主イエス・キリストによって、アーメン」

暫くすると、たけ神父様が眼鏡をかけて上着を着て客人として入って来られました。歌人として素晴らしい音声で二曲歌われました。岡本敦郎作曲の「高原列車は行く」と滝廉太郎の「箱根八里」で、これは私たちの青春時代の歌です。

次いで子どもたちが入って来ました。「フレンズ」の歌詞を印刷して配られて、私たちは子どもたちと一緒に歌いました。最後に子どもたちは手話で歌いました。

来場者の方々はそれぞれ話し合われました。普段教会に来ておられなかった方々、息子に車で送り迎えされた方、娘に付き添われて車椅子で来られた方もおられました。アヴェ・マリアの祈りを唱えてこの会は終わりました。有意義の会でした。

敬老祝賀会

コミュニティ B

9 月 20 日、台風接近というあいにくの天候でしたが、片瀬教会を長きに渡り支えてくださっている 48 人の方々にお集まりいただき、敬老のお祝いを行いました。

それぞれ飲み物を手に、たけ神父様の乾杯と祝辞を頂き、サンドイッチ、和菓子等々、美味しい食べ物を召し上がりながら、思い出話、近況報告などを語り、信徒会館は笑顔で大いに盛り上がりました。

そこにたけ神父からのサプライズプレゼント！岡本敦郎に扮したたけ神父が登場。拍手喝采の中「高原列車は行く」の美声で皆さまを若い時代に連れ戻し、「箱根八里」で郷愁を誘ってくださいました。

また、宮國委員長からは、「これからも片瀬教会の共同体として、私たちとずうっと繋がっていてください。」とのメッセージがあり、教会学校の子どもたちからは、手話と歌「フレンズ」のプレゼントもあり、会場の全員が手拍子で参加し、楽しいひと時を過ごされました。最後に天使祝詞を唱え信仰を新たにし、「ゆみの会」から滑り止めマットのお土産とお饅頭を手に、名残惜しくも家路に就かれました。

第５地区一粒会『祈りのリレー』

一粒会　I.K.

今年度も、横浜教区第５地区の一粒会『祈りのリレー』は 11 月が片瀬教会の当番で、毎週、主日のミサの共同祈願で、以下の祈りを唱えます。

『司祭・修道者のために祈ります。主よ、新たな神学生の養成と司祭・修道者の召し出しのお恵みをお与えください。聖霊の導きによって、多くの青年が、喜びと勇気を持って、召命に応え、生涯、主とともに歩むことができますように。又、私たちの共同体がその召命に応えられるよう心を一つにして祈り、支えていくことができますように、お導き下さい。』

第５地区の他の教会の『祈りのリレー』を紹介致します。

◎６月大船教会『主よ、お創りになったすべてを賛美し感謝致します。恵みに満たされ、喜びのうちに歩む私たちを支え励まし導く司祭をこの大船の地からもお召し出し下さいますように。』

◎７月鍛冶ヶ谷教会『神の恵みと招きによって、神と人々に仕える司祭・修道者が召し出しされるよう祈ります。信徒一人ひとりの奉仕によって、新たな神学生の養成と、司祭・修道者の召し出しと成聖の実を結ぶことができますように。』

◎９月戸塚教会『慈しみ深い父よ、あなたの教会をかえりみ、イエス・キリストのために生涯を捧げる司祭・修道者の召命をお与えください。多くの青年があなたの鐘の音に導かれ、あなたの愛を宣べ伝え、人々に奉仕する心を与えられますように。』

◎10 月中和田教会『慈しみ深い父よ、あなたの民を顧み、イエスキリストのため生涯を捧げる司祭・修道者の召命をお与えください。聖霊の恵みと力に支えられて、兄弟姉妹に奉仕する心を与えられますように。』

ヨハネ書 12 章 24 節からとった『一粒の麦』が、一粒会の由来です。

その一粒一粒が集まって、大きな力になるよう、私たち信徒が祈りと献金を捧げ、司祭・修道者を目指す人々をこれからも支え続けていくことができますように、そして、すでに、司祭・修道者として奉仕している方々を祝福し、喜びと力をもってその使命を果たすことができますように、心からお祈りしていきたいと思います。

現在、片瀬教会では、83 名の方が一粒会の会員として活動して下さっています。今後とも、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

カトリック横浜教区　平和旬間 2026

『正義と平和』と『ともに歩む（シノダリティ）』
～　対立と分断を乗り越えるために　～

８月８日(土)カトリック雪ノ下教会大聖堂にて標題の催しが、コンサート、講演、ミサの三部の流れで今年は行われました。

第一部　ミニコンサート

27 年前に 10 名の信徒で始まったという Joy Kamakura Community Choir　によるゴスペルのコンサート。クラップ(手拍子)と身振り手振り、パワフルな 60 名程の歌声がバンドと共に、いつもは静寂な聖堂に響き渡り、祭壇前にところ狭しと繰り広げられました。そもそも godspel とは god(良い)＋spel（知らせ)＝神からの良い知らせ＝福音を意味する言葉とのこと。アフリカからアメリカに渡った人々が、その過酷な生活の中でキリスト教の信仰と出会い、アフリカの独特なリズムと歌唱法が西洋の神を賛美する歌と融合して「黒人霊歌」が生まれ、それが発展して現在のゴスペル音楽が確立されたようです。しかしながら私個人としては、ゴスペル＝プロテスタントというイメージが強く、何故カトリック教会で今回歌われるのか不思議な気持ちもしましたが、身体全体で「心からの信仰の喜び、救われた感動」を表現し、何と言っても歌い手の各人の笑顔に引き込まれ「神を賛美する気持ち」にプロテスタントとかカトリックという境目はなく、その手段もゴスペルとかグレゴリオ聖歌という枠ではなく、「神を思う気持ちは一つ」と痛感しました。本日のテーマは「分断と対立を乗り越えるために」なのに。自ら枠を作っている自分に恥じ入る気持ちでいっぱいでした。

第二部　講演会

講師として、西村桃子師(セルヴィ・エヴァンジェリー宣教会)をお迎えして、標記またそのつながりとして「霊における会話」についてのお話がありました。

まず西村さんは、前教皇フランシスコの呼びかけで開催された第 16 回世界代表司教会議(シノドス)に、議長代理として教皇に代わりに会議運営を任された方々の中の数少ない女性です。また第 16 回シノドスは第 15 回が３週間半程の会期であったのに対して、３年(2021～2024)に渡って行われ、すべての人々にシノドスのプロセスへの参加を呼びかけ「14 億人(全世界のカトリック教徒)の意見聴取」とも呼ばれているそうです。

そもそも「シノドス」と今回の標題にある「シノダリティ」の違いとは？「シノドス」は、対話し、識別し、決定するために集まること。「シノダリティ」は、教会を成り立たせているもの。すべての人とともに歩みキリストの光を輝かせることのできる教会にするために霊的刷新と構造改革の道。つまり、シノダリティなくしては、シノドスは成立しない。正に第16回シノドスのテーマは「ともに歩むこと」、「シノダリティ」でありその報告の形で講座は進みました。教会は、内向きに信じている人の集まりではなく、神の愛を生き様をとおして証し、誰も排除せずに、すべての人とともに歩むことがどうしたらできるのか。

その会議は、話し合いの全てが「霊における会話」の手法で進められたそうです。

「霊における会話」の「霊」とは、英語では大文字のSpiritで、三位一体の神の「聖霊」を意味するとのこと。３～４人のグループで、テーマに沿って発言し、積極的に耳を傾けること、その間に沈黙を取り入れること、グループ内で感じる見過ごすことのできない声(良心、神の息吹、聖霊の導き)を数ステップ(通常は３ステップ)で確認することを特徴とするグループ分かち合いです。

講座後半では、西村師がファシリテーターとなり、実際に参加者全員が４人のグループに分かれて「対立と分断を乗り越えるために」をテーマに「霊における会話」の実践をしてみました。その実際は…

まず、テーマについて個人的祈り→グループでの沈黙の祈り→メモの用意

第一ステップ：「わたし(I)」一人ひとりが発言し聞く→沈黙と祈り

第二ステップ：「あなた(You)」一人ひとりから聞いたものを祈りのうちに思い巡らし、浮かび上がったものを発言→沈黙と祈り

第三ステップ：「わたしたち(We)」グループの中で浮かび上がった重要なポイントを明らかにする。メンバーの合意形成ではなく、お互いを尊重しあいながら、誰もが自分の声が反映されていると感じられる共同作業を行い、新たな一歩を踏み出せるようにすること。

…紙面の都合でその全てを書き記すことは出来ませんが、講座で配られたテキストに「シノドスハンドブック」(カトリック中央協議会)があり、その中に「霊における会話」分かち合いプログラムが載っています。

とかく分かち合いをすると、ある特定の方々だけが話して終わってしまうことが多いですが、このやり方ですと教会内の様々な立場の人々が、「同じテーマ」「（一人ひとりに）同じ時間」を与えられて、沈黙の祈りの時間を挟むことにより、聖霊の働きや神の望みに心を向けつつ進められる利点があると思わ

れます。この方法を教会の現場に取り入れることによって、少しずつ「ともに歩む(シノドス的)教会」になっていくのではと思います。

西村師が教皇フランシスコは、会議の時に出身地アルゼンチンでよく飲まれているマテ茶をみんなで回し飲みしたこと、またそれが「ともに歩む」ことに繋がったのではないか。そして、実際に教皇からプレゼントされたという茶こしの付いたスプーンとマテ茶のカップにマテ茶を入れてお持ちくださり、感動しました。



第三部　ミサ

本日のこの催しの最後は、梅村司教様司式によるミサでした。

カトリック平和旬間は、1981 年の教皇ヨハネ・パウロ二世が来日の折、広島で平和のメッセージ…「過去を振り返ることは、将来に対する責任を担うことである」…

を訴えられたことがきっかけとなり、翌年の 1982 年から毎年８月 6 日から 15 日までの 10 日間として制定されたそうです。

また、その時教皇は「戦争は人間の仕業です」と訴えられたそうで。人為的なことによっての成せる業は、人間によって平和へと繋げて行かねばならないこと。そして、司教様は埼玉県東松山市の丸木美術館所蔵の「ピカは人が落とさにゃ落ちてこん」という色紙の言葉を用いて、原爆が同じ神に造られた人間によって多くの尊い人間の命を奪い、自然を破壊したことを説教の中で何度も強調されました。

では、何故そのようなことが起こったのか？その始まりは全て小さな嫉妬から…と、マルコの福音書 15 章 10 節を引用されました。ピラトが人々が願い出る囚人を一人釈放する時、「祭司長たちがイエスを引き渡したのは、ねたみのためだと分かっていたからである。」～『ねたみ』＝嫉み、『そねみ』妬みを合わせると『嫉妬』～他を羨む気持ちが大きく膨らむと『嫉妬』から、やがては『戦争』につながるのではないかと。

世界の各地域での悲惨な現状を見るにつけ、世界唯一の被爆国の民である私たちは、何をしたらよいのか？説教を聞きながら自問自答する私でした。講座の「霊による会話」の実践により、まず身近なところから他者を思いやり、相手の話を聞き、自分の中で思い巡らし、神の声に耳を傾け聖霊の働きを感じ取ること、そして祈ることが平和への道ではないかと感ずる一日でした。

広報部　小泉英子

2026 年 10 月

☆教皇の意向：**心の健康についての司牧**

すべての教会で心の健康についての司牧が確立され、心の病から生じる偏見や差別を克服する助けとなりますように。

☆日本の教会の意向：**宣教**

宣教の実りを願って祈ります。「全世界に行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい」(マルコ 16・15)と言われたイエスのことばに従い、私たちが生活の中で福音の喜びを証しすることができますように。（祈りのしおり「きょうをささげる」より）

☆典礼と行事・活動予定

日付・曜日		典礼	ミサ時間	行事・活動予定
10/1	木			
10/2	金		9:30	
10/3	土			・ペットの祝福　16時30分～
10/4	日	年間第27主日 ※すべてのいのちを守るための月間 （9月1日～10月4日）	8:00 10:00	
10/5	月			・ベナン司教様　片瀬来訪　14時
10/6	火			火曜講座　10:00
10/7	水			聖書と典礼を読む会(たけ神父出席)10:00
10/8	木			
10/9	金		9:30	金曜講座　10:15
10/10	土			
10/11	日	年間第28主日	8:00 10:00	11月度教会委員会
10/12	月			
10/13	火			火曜講座　10:00
10/14	水			聖書と典礼を読む会(信徒のみ)10.00
10/15	木			
10/16	金		9:30	
10/17	土			
10/18	日	年間第29主日 ※世界宣教の日(献金)	8:00 10:00	・ミニ福祉バザー ・今なら聞きたい教会史　12:00～ ＠信徒会館１階
10/19	月			
10/20	火			
10/21	水			「聖書と典礼を読む会」10:00 信徒のみ
10/22	木			
10/23	金			
10/24	土			
10/25	日	年間第30主日	8:00 10:00	・Sr.大橋のお話会11:15～11:45で ＠司祭館応接間
10/26	月			
10/27	火			
10/28	水	聖シモン聖ユダ使徒 祝		「聖書と典礼を読む会」10:00 たけ神父出席
10/29	木			
10/30	金		9:30	金曜講座　10:15
10/31	土			

◆お知らせ◆

〇10 月は、ロザリオの月です。8 時、10 時ミサ 20 分前からロザリオの祈りを致します。

〇10 月 23 日の金曜ミサは、たけ神父様不在のためありません。

〇10 月 25 日(日)10 時のミサ後、11 時 15 分～45 分、司祭館 1 階応接間にて、大橋マスールの講話があります。どうぞご参加ください。

2026 年 10 月号

発行　カトリック片瀬教会
〒251－0035　藤沢市片瀬海岸2－2－35
TEL/FAX 0466－22－4646
https://www.catholickatasechurch.com